

これだけは押さえておきたい カウンター什器の基礎知識



目次

- ・ 什器の手配の流れ
- ・ 什器の基本的な形状
- ・ 見積の際に必要な情報は？
- ・ 低コストで作れる什器は？
- ・ 商品を手にしてもらうためのVMD
- ・ 什器チェックシート

什器の手配の流れは？

基本的な流れの一例

STEP 1 見積依頼

仕様をお聞きし、概算で御見積を作成します。

御見積に問題なければダミー作成へ進行します。

STEP 2 形状ダミー

製品をお借りし、形状ダミーを作成します。
微調整含め1〜3回の形状ダミー提出が想定されます。

※初回形状ダミーが約10日、その後の修正が5日程度で上がります。

※時期、修正内容にもよります。

STEP 3 デザイン作成

形状が校了になりましたら、図面データをお送りしますのでデザインを図面データに落とし込んで頂きます。

クライアント様にもよりますが約1〜2週間かかります。

STEP 4 色校正〜本生産

ご入稿データに問題なければ、ご入稿より約5日ほどで色校正を提出します。
色校正に問題なければ、校了となります。

校了後、印刷〜納品まで約2〜3週間となります。

数量、セットアップ内容によりもう少しかかる場合もあります。

ちょっとQ&A

Q 忙しくて店頭で什器を見る時間がなく形状がわかりません。

A 当社では実績集を資料化していますので少し内容お聞き出来ましたらそれに合わせて実績集をお送りします

Q 形状ダミー作成は費用がかかりますか？

A 1〜3回程度の形状ダミー作成・修正では費用かかりません。形状ダミー5個など必要な場合は別途費用が必要になります。事前にご相談ください。

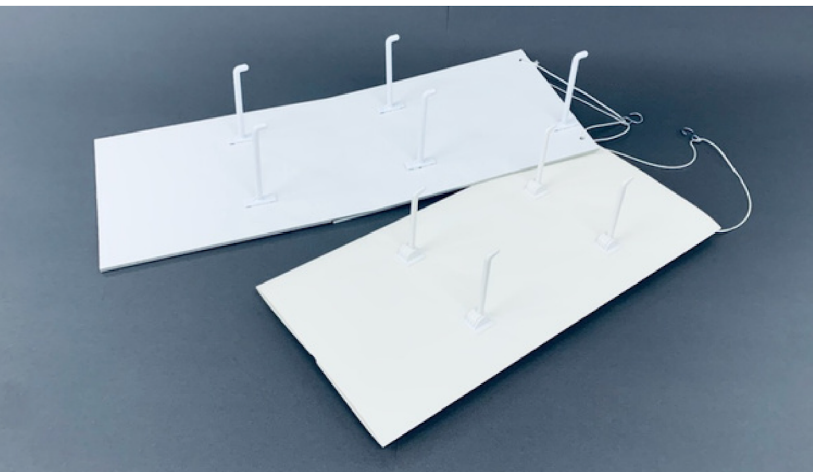
Q 入稿データ(ai)が合っているか分からない

A 入稿データをお送りいただけますと確認します。
余裕のあるスケジュールで進めて頂けると幸いです。

Q いちから什器製造にかかる日数は？

A いちから什器を作る場合、
最低でも2か月〜3か月かかります。

什器の基本的な形状

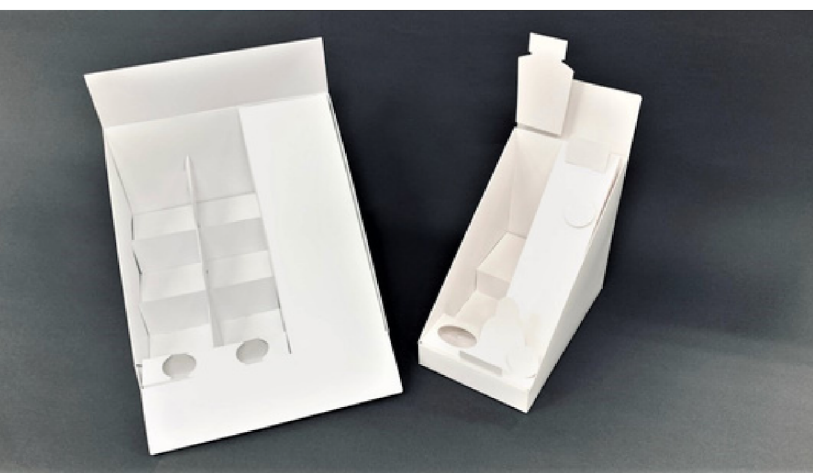


ハンガー什器

ハンガー什器は、S字フックと紐を用いて棚の側面や店内の壁面を利用し、吊り下げる什器です。

陳列棚以外のところに商品を置くスペースを設けることができるので、売り場が小さい場合や、商品が陳列棚に収まりきらない場合など空きスペースを有効に使って手軽に展開できます。

ドラッグストア等でよく見られます。



カウンター什器

カウンター什器は店舗の定番棚・エンド棚でよく使用される、一般的で使い勝手の良い什器です。

レジ横等にも設置が可能で、商品をより綺麗に、より多く陳列、ディスプレイすることができます。基本的なサイズはW300×H300×D300mmですが、最近で小さめのカウンター什器も多くなっています。

定番棚に陳列してもらう場合、カウンター什器が必要な場合が多いです。



フロア什器

フロア什器は、そのまま床置きで設置することができる自立型の什器です。

大型で存在感があり、ブランドの世界観を伝えることができます。

しかしカウンター什器とは異なり、陳列する製品を売り切るとフロア什器は撤去されるため、短期間での展開が基本となります。

なので新商品や季節の限定商品などの発売時に作られることが多いです。

お見積をご依頼頂く際に必要な情報は？

初めての什器でどのような進め方をしたら良いか分からないというお声をよく聞きます。
見積するにあたりまして以下の情報を伝えると基本的に概算見積の算出が可能です。

必要な情報は？

■ 什器の数量・・・

正確に決まっていない場合は500/1000/1500 などご依頼頂けましたらパターンで見積を作成します。

■ 印刷色数・・・

基本的にフルカラー（カラー4色＋ニス）です。

特色必要な場合はカラー4色＋特色1色＋ニス等とご指示ください。

■ 表面加工の有無・・・

プレスコート、マットラミネート、グロスラミネート等で表面保護、美粧性、強度アップすることもあります。
もちろん価格は上がります。

■ 什器の形状（カウンター、ハンガー、フロア等）・・・

新規お問い合わせで一番多いのがカウンター什器となります。

ご希望の形状をお伝えください。

その他、ひな壇が必要なのか、後ろ看板は差し込みタイプなのか等は別途確認させていただきます。

■ 仕上がりサイズ・・・

特に明確なサイズのご指定がなければ製品サイズ、陳列数からおおよそのサイズを弊社で算出することも可能です。

■ 製品陳列数とテスターの有無・・・

製品をいくつ並べたいか、テスター置き場は必要なのか。

■ 色校正の有無・・・

色校正は本生産前に色味確認するための項目です。

■ 納品形態・・・

什器の場合は組み上げ納品か抜き納品があります。

組み上げ納品：什器本体とテスター台などセットできる範囲でセットし、POPパーツなどはポリ袋にいれた状態で
什器1台につき1段ボールに梱包する納品形態です。什器では基本的な納品形態です。

抜き納品：コストを安く押さえたい場合、印刷＋抜きの状態で納品します。価格は抑えられますが
自社で組み立て、段ボール手配、取扱説明作成等と慣れていないとかなり手間がかかります。

■ おおよその納品先・・・（例：東京都港区）

お見積をご依頼頂く際に必要な情報は？

前ページで長々と見積に関して書きましたが、文章やラフで伝えるのは正直大変だと思います。
そこで！

一番簡単なのが店頭でイメージに近い什器の写真をお送り頂くことです。

その写真とおおよそのサイズをお聞きできれば、ある程度価格の算出は可能です。

なんとなく什器を作りたいというよりは頭のなかにある程度のイメージがあるクライアント様がほとんどです。

どこかで見た形状だったり店頭で並んでいる什器だったり、、、

お見積をご依頼頂く際に、近しいイメージ写真を頂けるとイメージの共有ができます。

実際にいちから作るといくらかかるの？

什器の値ごろ感が分からず、とりあえず御見積をとのご依頼をよく頂きます。

一番お問い合わせの多いカウンター什器の値ごろ感をお伝えします。

総額：35~50万円程度 ※数量100~200程度として

（版代、平台校正1回、取扱説明書データ作成、抜型代、1台ごとに1段ボール入れ）

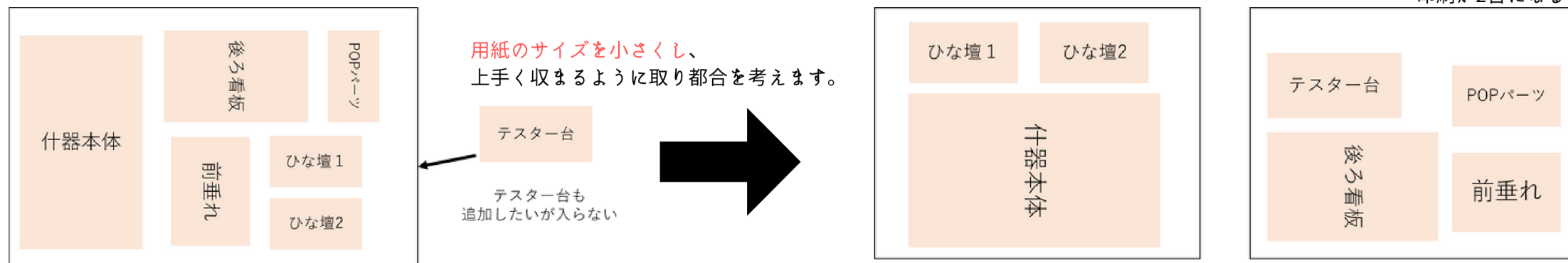
35~50万となると、かなり範囲がありますよね。

これは紙の取り都合の問題となります。

大きな紙1枚で什器パーツが全ておさまれば印刷も1台、抜型も1つとなり問題ないのですが

1枚では足りず、2枚になる場合、印刷も2台、抜型も2つ必要となり価格が上がります。

※一例となります。



もっと低コストで作れるカウンター什器はないの？

「一から化粧品を製造し、店頭販売するために小ロットでカウンター什器を作りたいが費用が掛かりすぎる！」
というお声もよく聞きます。

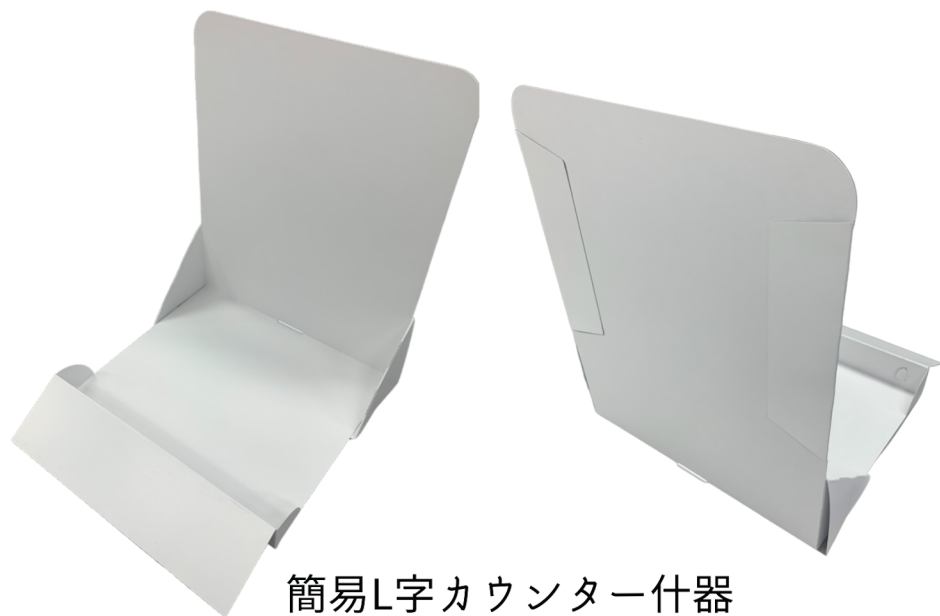
そのような時に一番低コストでできる **簡易L字型カウンター什器** をおすすめしています。

簡易L字型カウンター什器の費用は？

総額： **15~25万円程度** ※数量100~200程度として
(版代、簡易校正1回、抜型代、**※抜き納品**)

上記のカウンター什器と比べると組み立てが簡単なのでセットアップして納品する必要がありません。
簡易L字型カウンター什器は基本的に **抜き納品** となります。

一枚の紙でできており、数か所差し込むだけで什器本体の完成です。
梱包も折り曲げた状態で出荷できる為、輸送費も抑えられます。



簡易L字カウンター什器



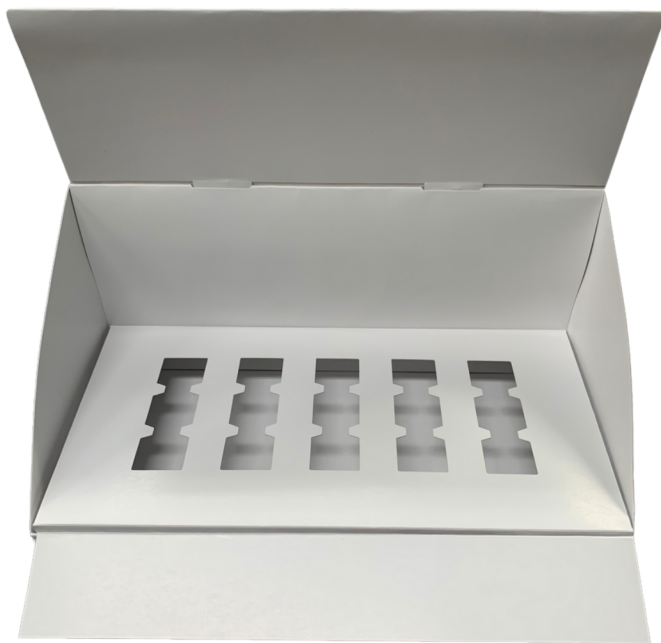
差し込み台を追加するだけで
印象が変わります！

自社で組み立てできそうなカウンター什器はないの？

よく店頭で見るカウンター什器はPOPパーツが多かったり、両面テープで貼ってあったりと想像以上に手間がかかっています。もちろんそれは機械でできる作業ではなく、人が手作業で行うので当然コストが高くなります。

「コストも大事だけどやっぱり簡易L字型カウンター什器よりはもう少しカウンター什器っぽい形が良い！」というクライアント様にはカウンター什器だけど**自社でカンタンに組み立てができそうな什器**をご紹介します。

こちらで紹介する什器はL字什器よりは複雑ですが、L字什器より見栄えが良くなります。後ろ看板が取り外しできるので棚の最上段はもちろんですが下段に移動しても看板を取り外せば、問題なく棚に入ります。



POINT!

取り外しできる便利な後ろ看板

什器をはじめて検討されるいかがでしたでしょうか。

商品を手にしてもらうためのVMD

VMD（ビジュアルマーチャндаイジング）とは、視覚に訴えながら、お客様の購買を喚起する、ディスプレイによるマーケティング手法です。これを什器の置き換えて説明すると主に下記の3点が要素になります。

ビジュアル・プレゼンテーション（VP）

10メートル先からでも気づいてもらえる、見つけてもらえる。遠くからでも認識できる大きな訴求ポイントをつけることで商品に興味を持って足を止めてもらえます。

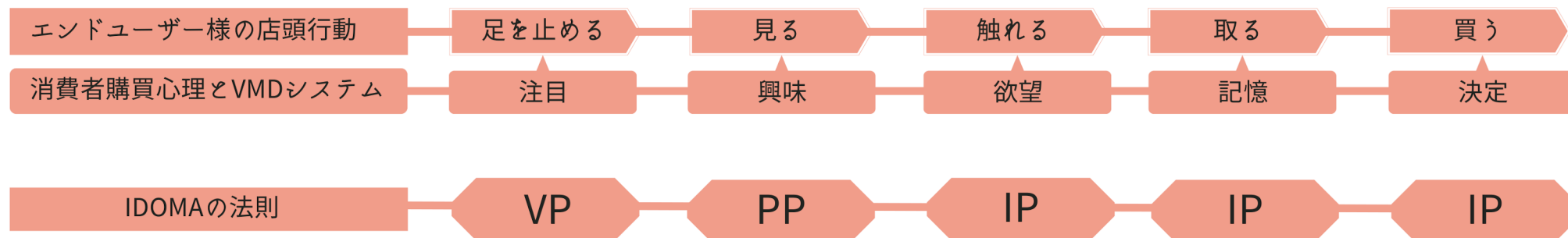
ポイント・プレゼンテーション（PP）

3～5メートルの距離間で看板部分や前垂れの訴求により商品自体のもつ魅力を強調し、さらに興味を引きます。

アイテム・プレゼンテーション（IP）

実際に手にとってもらい購入へつなげる。商品やテスターを手にとってもらい、実際の使用感、使用方法や配合成分など細かく確認してもらうことで購買につなげます。

VMDの手法

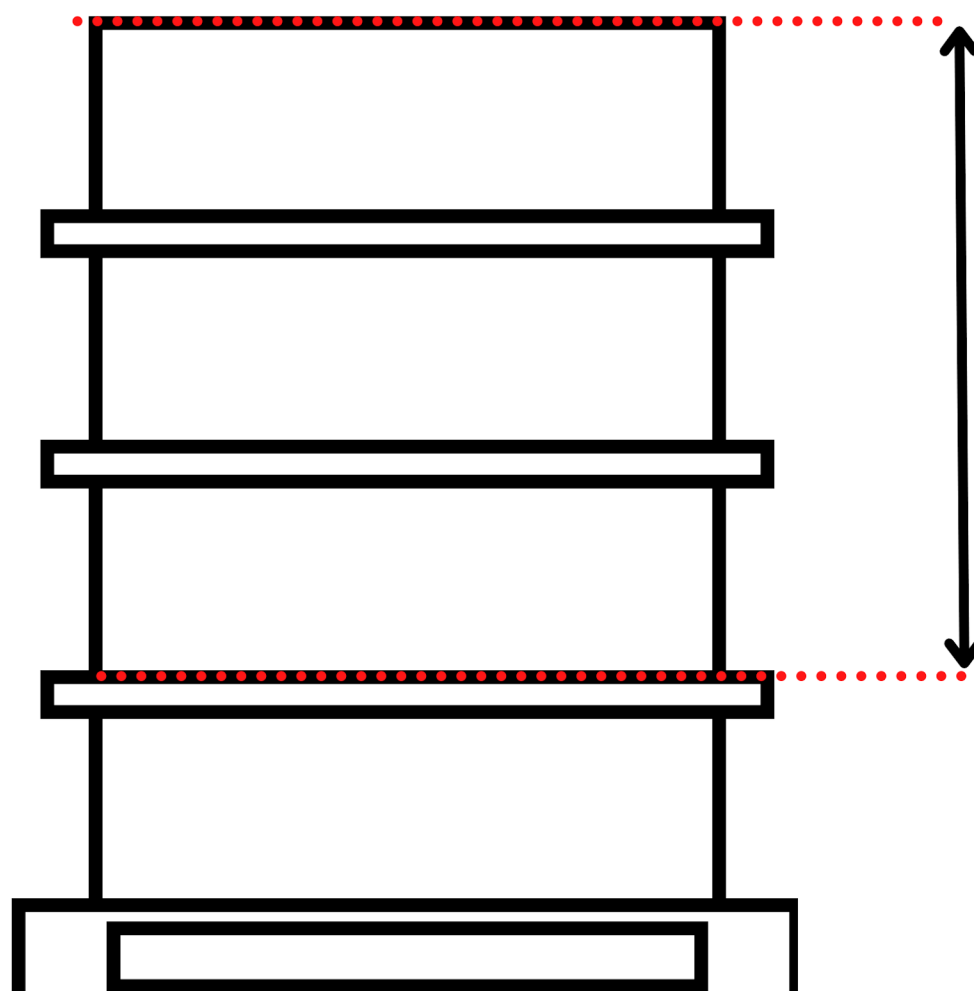
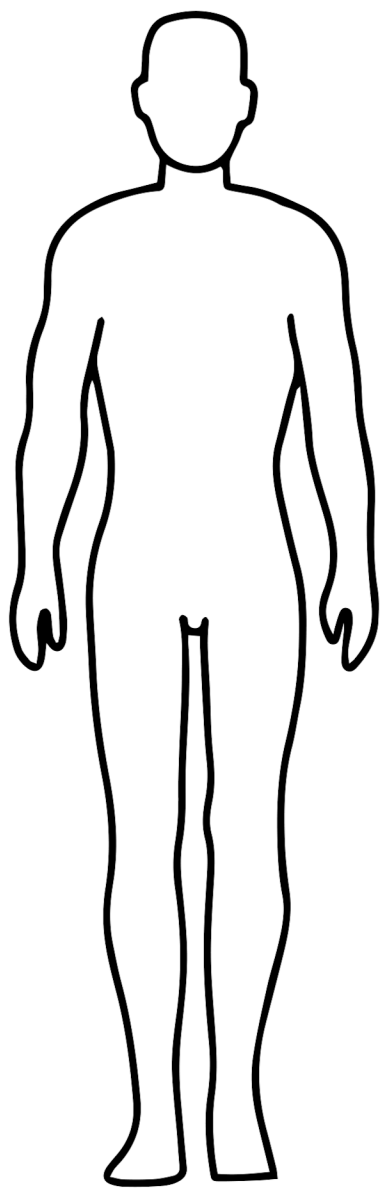


選びやすい、手に取りやすい高さとは？

選びやすく手に取りやすい範囲は、床から600mm～1800mmで商品を手に取り、選びやすく買いやすいスペースです。

そのうち600mm～1300mmは最も商品が見やすく、触りやすいスペースとされています。

ゴールデンスペースに置いてもらい、尚且つ、周りに並んでいる什器よりも目を引くことが大切になります。



ゴールデンスペース
600～1300mm

什器チェックシート

分類	チェック内容	評価 (5点満点)
表示・コピー	商品名・キャッチコピーが目立って見えているか	
	商品説明表示のスペースは十分か	
	商品の説明が分かりやすいか	
商品展示	商品は安定して陳列されているか	
	商品はとりやすく、また戻しやすいか	
	テスターは使いやすい位置にあるか	
デザイン	全体デザインのバランスは良好か	
	色のバランスは良いか	
	隣の什器より目立つデザインか	

どのような什器が良いか分からない場合、什器チェックシートで店頭の什器を評価してみてください。
個々人の好みもあるので同じ什器の評価でも結果にかなり差がでるかも！？



当社の役割

化粧品をはじめとする「美容」に関わる業界のクライアント様に特化した専門チームを組織。

情報とノウハウを集中し、より密度の濃いサービスをご提供します。

クライアント様と同じ目線で発売された商品の成功に向かって、一緒に考え、悩み、協力していきます。



サービス内容

紙箱・台紙

製品コンセプト・環境対応などを踏まえて最適な紙箱・台紙の印刷仕様・形状を提案します。

クリアケース

透明なクリアケースだからこそできる「コスメを魅せる多彩な設計」で最適なパッケージを提案します。

ラベル

パッケージや容器など被着体に合わせた最適なラベル仕様・形状を提案します。

アッセンブリ

豊富な経験を活かして化粧品仕上げ作業から細かなラベル貼りまで幅広くアッセンブリ作業をお任せください。

販促什器

パッケージだけでは伝えきれない製品特長・訴求ポイントをアピールできる形状を提案します。

その他包装資材・販促物

化粧品会社様がお使いになる包装資材物・印刷物に関する案件でしたらなんなりとご相談ください。

営業拠点

東京本社

〒105-0012

東京都港区芝大門1-10-11 芝大門センタービル 8階

TEL：03-5401-0831

京都本社

〒604-8481

京都府京都市中京区西ノ京冷泉町22番地

TEL：075-811-0131

大阪営業所

〒530-0012

大阪市北区芝田1-8-15 CRYSTAL MIYAKOビル 4階

TEL:06-6372-3033

富山営業所

〒930-0004

富山県富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル 4階

TEL:076-433-5554

名古屋営業所

〒460-0008

愛知県名古屋市中区栄2-4-1 広小路栄ビルディング 8階

TEL:052-209-5795

長野営業所

〒380-0921

長野県長野市栗田2125番地 長栄長野東口ビル 2F

お気軽にお問い合わせください。

生産拠点

亀岡工場

クリアケース、紙箱・台紙、販促什器製造工場

〒621-0011 京都府亀岡市大井町土田3-20-33

化粧品製造許可（包装・表示・保管）

京都工場

ラベル製造工場

〒604-8481 京都市中京区西ノ京冷泉町15

大山崎工場

アッセンブリ工場

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎鏡田3

化粧品製造許可、医薬部外品製造業許可（包装・表示・保管）